

## 海洋プラスチックごみゼロ宣言及びプラットフォームの設立について

令和3年6月24日  
環境保全課

### 1 趣旨

世界的な問題となっている海洋プラスチックごみの削減に向けた実効的な対策を強化していくため、県民及び事業者の皆様と一緒に取組を進められるよう、6月23日に海洋プラスチックごみゼロ宣言を行うとともに、宣言（目指す姿）の実現に向けて必要な取組を検討、展開するため、企業・団体等を参画メンバーとするプラットフォームを設立した。

### 2 海洋プラスチックごみゼロ宣言

#### (1) 宣言名

～みんなで守ろう、ミライへ、美しく恵み豊かな瀬戸内海を～  
ニーゼロゴーゼロ グリーン シー  
 2050 輝く GREEN SEA 瀬戸内ひろしま宣言

#### (2) 宣言の内容（目指す姿）

2050年までに新たに瀬戸内海に流出するプラスチックごみの量をゼロにすることを旨とする。



### 3 プラットフォームの設立

#### (1) プラットフォーム名

GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（略称「ジーシップ GSHIP」）

#### (2) 取組内容（対策の方向性）

<p><b>①プラスチックの使用量削減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンウェイプラスチックの削減や、代替素材（海洋生分解性プラ・紙等）の開発・普及促進</li> <li>プラスチック資源のリサイクルの拡大、高度化（食品トレー・PETボトル等）等</li> </ul>	<p><b>②プラスチックごみの流出防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトル自動回収機の設置（コンビニ等）</li> <li>空容器ボックスの異物混入対策の検討、実証</li> <li>デジタル技術の活用（ごみ箱センサー等）</li> <li>ナッジ（行動変容）を活用した啓発活動 等</li> </ul>
<p><b>③プラスチックごみの清掃・回収</b></p> <p>企業、清掃団体等と連携した効果的な清掃、回収 等</p>	<p><b>④情報の収集、発信、共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントやHPでの情報発信（先行事例、プラットフォームでの取組、参画企業等の取組等）</li> <li>先進的な取組の研究、紹介</li> <li>世論醸成に向けた方法の検討、実施</li> <li>環境教育 等</li> </ul>

(3) プラットフォーム参画企業・団体 (※設立時点 20 者)

区分	企業・団体名
素材メーカー	(株)ダイセル
食品・飲料 メーカー	アサヒ飲料(株), (株)伊藤園, 大塚製薬(株), カゴメ(株), キリンビバレッジ(株), コカ・コーラシステム, サントリー食品インターナショナル(株), 宝積飲料(株), ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)
清涼飲料 業界団体	(一社)全国清涼飲料連合会
製造メーカー	(株)エフピコ
小売・流通	イオンモール(株), イオンリテール(株)中四国カンパニー, (株)イズミ, (株)セブン-イレブン・ジャパン, (株)ファミリーマート, (株)フレスタホールディングス, (株)ポプラ, (株)ローソン

※今後、他の企業や関係団体、市町等にも参画を要請していく予定としている。

(4) 今後の進め方

6月23日(水)の記者会見において、株式会社セブン-イレブン・ジャパンから、本県へのペットボトル回収機の設置や、(株)ダイセルから、酢酸セルロースによる海洋生分解性プラスチック等の開発、研究の推進等、先進的な取組について発表があった。

今後、こうした取組を参画企業等と連携しながら推進するとともに、課題ごとにワーキンググループを設け、モデル事業を実施するなど、具体的な対策を検討・実施していく。